



モンテッソーリ
学園前こどもの家
NO.256
2025年5月

5月

新緑がまばゆい程美しい季節になりました。こどもの家のお部屋から見える大洲池公園の木々の新緑がとても美しく、なんだかワクワクしてきます。子どもたちは時折おしごの手を休め、お庭のお花を見たり、飛んで来る虫や鳥を見つけたりして楽しんでいます。新年度が始まり1ヶ月が過ぎました。4月入園のMちゃんも笑顔いっぱいでお過ごししてくれています。今月も全ての子どもたちが愛され健やかに育つ様、ご家庭と連携を保ちながら“子どもの育つ力”を信じ、各々の子どもたちの成長を援助して行きたいと思っております。

<お部屋での子どもたちの様子>

青組 (5才児)

「ついに青組さんになった!」と、目を輝かせている青組さんたち。これから1年間、小学1年生になる準備として生活習慣の見直しを始め、こどもの家での1日の流れをしっかりと身に付ける事が出来るよう、時計を見て動くという事を伝えています。すでに時計はよく読めていて、「あと5分で散歩に行く時間だよね」、「今日は〇時〇分にお給食が食べ終わったよ」等、お話ししています。

お給食の後のお片付け、小さいさんのお手伝いやお当番を、こどもの家のお父さんとして頑張ってくれています。マイペースな青組さんたちですが、これからの成長がとても楽しみです。これから黄組の時から憧れていた数のおしごと《銀行あそび(集団あそび)、へびあそび(10の構成を知る)、数の巻紙(1~1000を巻紙に書く)、切手あそび(9999迄の4桁の数字の足し算・引き算・掛け算・割り算)》にもチャレンジしていきます。数が大好きで得意な青組さんたち。青組さんになってすぐに、「先生、早く銀行遊びしたい!」「今日、数の巻紙を教えてください?」と、本当に楽しみにしてくれていました。銀行あそびの前段階、1~9000迄のピースとカードの一致、複合数が終わり、今は銀行遊びの足し算、引き算をやっています。また漢字の名前うつしも始め、書き順をしっかりと伝えています。自分の名前の漢字を知り、子どもたちとても嬉しそう、難しい漢字でも嬉しそうに取り組んでいます。

黄組 (4才児)

元気いっぱいの黄組さんたち、みんなおしごとが大好きです。登園するとすぐに「何のおしごとしようかなあ♪」とニコニコ笑顔です。小さいさんのお世話をしたい人も多く、4月入園の白組さんに、そっと寄り添ってくれています。優しい黄組さんです。黄組さんからお当番をすることになって、嬉しくて仕方ない黄組さんたち。今日は僕、私がお当番なんだよ♪お集まりで歌詞カードを持つんだよ♪と本当に嬉しそうです。今は文字の読み書きの練習や、セガン板、構成三角形など嬉しそうに取り組んでいます。こどもの家の小さいお父さん、小さいお母さんとして、青組さん同様の成長を楽しみにしています。

赤組 (3才児)

赤組さんになると、おしごとの机や洗面台が大きい組さん用になります。憧れの大きい組さんの仲間入りで、やる気満々な赤組さんたち。まだまだ幼いですが、自分のお世話がしっかり出来るように援助しています。「先生、これやりたい」とおしごとにも意欲的です。今は50音の積み木や鉄製はめこみ(文字を書くための準備)、彫り文字・うつし文字、なぞり文字を好んでやっています。ぬいさし、2本編み、3本編みも上手で、3本編みで作るバスケットを1人で全部仕上げる人もいます。「〇〇くんすごいね」と伝えると「赤組さんだからね」と得意げです。可愛い赤組さんたちです。

桃組 (2才児)

一日中お兄さんパンツ(布パンツ)で過ごし、1人でトイレに行く桃組さん。おしゃべりが上手で、会話がとっても楽しいです。文字にも興味を示し、壁文字を指さして「あ・い・う・え・お」と読んでいます。50音の積み木が大好きな桃組さんです。手先も器用で、ハサミやぬいさし、2本編みが大好きです。自分のお世話が出来るように練習中ですが、時々一人で出来るのに「先生と一緒にやりたい〜」とまだまだ甘えん坊で可愛い桃組さんです。

白組（1才児）

4月入園のMちゃん。初めての登園から泣くこともほとんどなく、落ち着いて毎日過ごしてくれています。オマルにご機嫌に座り、オシッコが出ると「やったー！」と一緒に大喜びしています。お給食は1人で上手にスプーンを使って完食しています。歯ブラシも1人で出来るしっかり者のMちゃん。ニコニコ笑顔がとっても可愛いです。

＜モンテッソーリ教育＞

子どもは自分の取り巻く環境を毎日の生活の中で学びます。家庭は大人の家であり、大人の都合のいいようにできています。ひょいと大人が手伝ってしまうので、子どもが本当にのびのびと、生き生きと育つことは難しいです。

一方「こどもの家」は子どもが生活していくための環境を整えた、子どものための家です。子どもが主体的に自分の力で生活することが自立につながります。

入園すると、まずは実際の生活の練習をします。こどもの家には、2歳から7歳くらいまでの子どもが使えるサイズの本物の生活道具やモンテッソーリ教育のさまざまな教具が用意されています。生活の中心はあくまで子どもであり、大人はそれを手伝う人、奉仕をする人、援助をする人です。

保育室では、のり、はさみ、鉛筆、画用紙からゴミ箱にいたるまで、必要なものがいつも同じ場所に置いてあって、大人の手を借りずに自由に一人で取り出せます。（学園前こどもの家では窓に向かって長机を置き、一人でじっくり取り組めるようにするなど、机や棚の配置も考えています。）

初めのうちは大人が手伝いますが、やがて一人で出来るように道具が整っています。こうして、後片付けまで自分ですること、つまり「集団生活の中で責任を果たす」ということも自然に身につくよう、大人はくり返し教えます。

ままごとよりも本物がいい

子どもは家庭ではお母さんの家事を見ています。だからままごとよりも本物がいいのです。こどもの家ではクッキングでカレーを作っています。子供の手のサイズに合った包丁とピーラーを用意し、あらかじめ縦半分に切った人参やジャガイモの皮をピーラーでむきます。その際「平面（断面）を下にすると安定する」ことを伝えてよく見せます。細めに切った野菜を左手で押さえて、包丁でゆっくり切ります。ジャガイモは柔らかく人参は固いので食材によって力の入れ方が違うことが分かります。白・桃組さんはゆで卵の殻や玉ねぎの皮を、指先を使ってむきます。

こうして自分で出来ることが増えてくると、「自分が役に立つ人間だ」と感じる事ができます。年長になると豆腐を手のひらにのせて切ることもでき、お味噌汁を作ってみんにふるまってくれます。

他にも、モンテッソーリ教育に基づいた様々な「生活教育」の教具を用意して、実用生活の前の練習をします。実際に手を使って生活すると、順番がわかり、抽象的な考えをする時に役立ちます。それを遊びの中で身につけるのです。

（「自分で考え、自分を育てるモンテッソーリ教育」より）

＜保健だより＞

ゴールデンウィークは生活リズムがくずれがちですが子どもに合わせた規則正しい生活リズムを心掛けて頂きますようご協力お願い致します。

【生活パターンを朝型へ】

昔に比べ、生活パターンが夜型になり、時間に追われる現代、自律神経の調整機能が弱くなったり、心身の調和が取れない「反健康状態」が大人も子どもも多くなってきています。ちなみに現代の子どもは8割が自律神経の調整機能が弱いとされています。これは大人の責任です。大人が環境を整えてあげる必要があります。その為には毎日の生活リズムを整える事から実行して行きましょう。

【毎日の生活リズムを整える】（快眠、快食、快便）

① まずは早起きから

朝早く起きたら、夜は自ずと早寝が出来る。

（夜寝るのが遅かったら、朝ゆっくりと思われがちですが悪循環になりますのでご注意ください）

② 朝食は必ず摂る

③ 朝、出ても出なくてもトイレに座る習慣をつける

便秘になるとお腹が張ったり痛くなったりして活動に集中できなくなります。規則正しい排便で気持ち

の良い一日を！！

④ 日中は体を十分に動かす

⑤ 夜9時迄に寝る（成長ホルモンの関係から）

*テレビやスマホ画面は神経を高ぶらせるので見せない。絵本 etc を静かに読んであげる。

<5月の行事>



5月 2日（金） ・避難訓練
5月12日（月） ・身体測定
5月16日（金） ・クッキング（よもぎ団子作り）
*エプロン・三角巾・マスクをご持参下さい。
5月23日（金） ・お誕生会

※毎週水曜 ピラミッドキッズヨガ in English（月4回）

以上